

# 対話と協調の世界を求め、市民政治の新時代に 憲法理念の実現をめざす第46回大会(護憲大会) 開催の呼びかけ

64年前、日本は、アジア・太平洋地域に対する植民地支配と侵略戦争による2000万人に及ぶ犠牲者など世界の人々に多大への加害と、沖縄の地上戦、ヒロシマ・ナガサキの原爆投下と日本でも300万人を越える多数の犠牲者をもたらしました。その反省から、1947年5月3日に、平和主義、基本的人権の尊重、主権在民を三大原則とする日本国憲法が誕生しました。

いま、日本の平和や人権の状況はどうでしょうか？ 戦後の日本は、平和を求める人々の不断の努力によって、戦前のような相次ぐ戦争という事態には至らなかったものの、歴代自民党内閣のもとで憲法理念は実現できず、憲法第9条は空洞化され続けてきました。いまや日本は世界有数の軍事力を持ち、また、米軍基地とあわせて世界最大・最強の基地群が築かれ、自衛隊の海外派兵が日常化しています。沖縄では、依然として米軍による重圧がつづき、事故や犯罪が絶えません。他方、日本の戦争・戦後責任の課題は、山積したままです。朝鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)との国交正常化は果たされず近隣諸国との「過去の清算」も未解決です。人権もないがしろにされてきました。日本が結んだ国際人権条約は30のうち12に過ぎません。国連の人権機関は国内人権機関設置や様々な差別の問題で、日本に対して勧告しています。しかし、これまで、自民党政権のもとでは改善は一向に進まないどころか、新自由主義路線によってセーフティネットは崩され、「健康で文化的な最低限度の生活を営む権利」(憲法第25条)すら犯されてきました。

安倍内閣時代の2007年5月に成立された「憲法改悪のため」の「改憲手続法」にもとづいて、早ければ2011年にも自民党案に基づく改憲案を発議するという路線は破たんしたものの、その後の福田・麻生政権のもとでも、2010年5月の施行に向けて、総務省のリーフレット大量発行、衆議院の憲法審査会規程の強行採決など、さまざまな動きが続けられています。また、「集団的自衛権」の行使に向けたなし崩し的な解釈改憲も、ソマリアへの自衛隊派遣や海賊対策法の制定による恒常的な自衛隊の海外派兵・派遣、武力行使の既成事実化などとして企図されてきました。また、北朝鮮の「人工衛星」打ち上げや核実験をめぐって脅威を煽りながら、「敵基地攻撃論」などを喧伝する政府・自民党の動きも活発化しています。

他方で、核兵器軍縮・廃絶に向けて動きはじめたアメリカのオバマ政権の誕生など、対話と協調を軸とする世界の動きも強まっています。また、参議院における与野党逆転につづいて、政権交代を焦点とした歴史的な総選挙が目前に迫っています。

このなかで、憲法理念を実現する政治に転換させる可能性が大きく拡大しています。東北アジアの非核化と平和に向けて、市民との不戦の交流、平和連帯・共通の安全保障を明確にする平和環境の醸成のとりくみや、人権や民主主義の確立、人々の「命」や生活を重視する「人間の安全保障」の政策実現のとりくみを広げていくことが必要です。とりわけ、与党が3分の2議席を占めるなか、崩壊の危機に瀕してきた議会制民主主義を再生させることや、国際人権諸条約の批准と人権法制度の確立に向けてすでに日本政府が国際公約した項目をはじめとして実現することは、すぐにも着手しなければなりません。

こうした新たな状況のもとで、本年11月に長野県長野市で「対話と協調の世界を求め、市民政治の新時代に、憲法理念の実現をめざす第46回大会(護憲大会)」を開催します。多くの方が参加することを呼びかけます。

2009年7月1日

憲法理念の実現をめざす第46回大会実行委員会

# 対話と協調の世界を求め、市民政治の新時代に 憲法理念の実現をめざす第46回大会開催要綱

- (1) 呼びかけ** (別掲)
- (2) 大会の名称** 対話と協調の世界を求め、市民政治の新時代に  
憲法理念の実現をめざす第46回大会 (略称・第46回護憲大会)
- (3) 大会の主催** 憲法理念の実現をめざす第46回大会実行委員会  
(略称・第46回護憲大会実行委員会)

## **(4) 大会スローガン**

- ・武力で平和はつukれない、9条をいかして平和を築こう
- ・日朝国交正常化を実現させ、日本と東北アジアの非核化・軍縮をすすめよう
- ・ソマリアやインド洋など海外から自衛隊を撤退させよう
- ・憲法にもとづく平和基本法を制定しよう
- ・米軍再編や原子力空母母港化をやめさせ、沖縄をはじめ基地を縮小・撤去しよう
- ・侵略戦争の歴史と責任を明確にし、戦後補償でアジアと和解しよう
- ・子どもの権利条約に基づく教育を実現しよう
- ・国際人権条約を完全批准し、差別や人権侵害のない多民族・多文化共生社会をつくろう
- ・地球市民として温暖化を克服する環境の国際協力、ライフスタイルをすすめよう
- ・地方主権と市民政治を確立しよう

## **(5) 日時と場所**

11月1日(日)13時～11月3日(火)11時 ホクト文化ホールほか

①代表者会議	11.1	11:30～12:30	ホクト文化ホール(県民文化会館)会議室
②オープニング	11.1	13:00～13:30	同 大ホール・中ホール
③開会総会	11.1	13:30～14:30	同 大ホール・中ホール
④シンポジウム	11.1	14:30～17:00	同 大ホール・中ホール
⑤分科会等打ち合わせ	11.1	17:00～17:30	同 会議室
⑥北信越交流会(関連)	11.1	18:30～20:00	ホテルメトロポリタン
⑦分科会	11.2	09:30～13:00	長野市生涯学習センター、サンパルテ山王他
⑧フィールドワーク	11.2	08:20～17:00	松代、上田
⑨ひろば	11.2	14:00～16:00	長野市生涯学習センター、サンパルテ山王
⑩基地ネット(関連)	11.2	13:30～15:30	サンパルテ山王
⑪特別分科会	11.2	15:30～17:30	サンパルテ山王
⑫閉会総会	11.3	09:30～11:00	ホクト文化ホール(県民文化会館)中ホール

## **(6) 持ち方・内容**

◎オープニング	11月1日(日)13:00～13:30	ホクト文化ホール(県民文化会館) 善光寺木遣り唄(保存会)
◎開会総会	11月1日(日)13:30～14:30	ホクト文化ホール(県民文化会館)
①総合司会	日本私鉄労働組合総連合会中央執行委員	吉澤芳雄
	長野県実行委員会(自治労長野県本部副委員長)	中村雅代
②主催者あいさつ	実行委員会委員長(平和フォーラム代表)	江橋崇

- ③地元あいさつ 長野県実行委員会委員長 中山喜重
- ④連帯あいさつ 日本労働組合総連合会副事務局長 山本幸司  
社会民主党党首（内閣特命担当相） 福島みずほ  
民主党衆議院議員 平岡秀夫
- ⑤来賓あいさつ 長野県副知事 腰原愛正  
長野市長 鷲澤正一
- ⑤基調提案 実行委員会事務局長(平和フォーラム事務局長) 藤本泰成
- ◎シンポジウム 11月1日(日)14:30~17:00 ホクト文化ホール(県民文化会館)  
テーマ 「対話と協調の世界を求め、市民政治の新時代に」  
主旨 総選挙で民主党の歴史的圧勝のなか誕生した新連立政権。アメリカにつづく政権交代のなか、対話と協調をもとにした東アジア共同体に向けたとりくみや非核政策、CO<sub>2</sub>の25%削減など地球環境問題、人権諸政策などで意欲的な動きが進もうとしています。平和・人権・民主主義など憲法理念実現の課題について問題提起を受け、討議します。
- パネリスト 福島みずほ(社会民主党党首・内閣特命担当相)  
平岡秀夫(民主党衆議院議員)
- コーディネータ 江橋 崇(平和フォーラム代表、法政大学教授)
- ◎分科会 11月2日(月)09:30~13:00 長野市生涯学習センター他  
総テーマ 「対話と協調の世界を求め、市民政治の新時代に」
- ①非核・平和・安全保障 長野市生涯学習センター(TOiGO)4階大学習室2・3(290人)  
＝日本は、これまでアメリカの戦争のために多大な負担増と自衛隊の役割増大を求められてきました。日米の政権交代でどんな変化が起きるのか、また、世界が対話と協調に向かうなかで、憲法の役割を再認識するとともに、「日朝国交正常化」などの課題についても協議します。  
問題提起・助言者＝前田哲男(軍事評論家)、半田滋(東京新聞編集委員)、石坂浩一(立教大学准教授)
- ②教育と子どもの権利 サンパルテ山王4階天竜(150人)  
＝「子どもの権利条約」を日本が批准して16年。しかし、理念は定着せず、法制度も不備なまま。それどころか、2006年には「愛国心」押しつけや競争主義の助長の教育基本法改悪が強行されました。そのなかで、教育現場の状況はどうか。先進的なとりくみを参考にしながら協議します。  
問題提起・助言者＝荒牧重人(山梨学院大学教授)
- ③歴史認識と戦後補償 サンパルテ山王3階千曲(150人)  
＝「従軍慰安婦」や強制連行・強制労働、歴史歪曲教科書、さらには政府などの要人発言など、日本と日本人の歴史認識・人権意識が世界各国の決議や国連人権機関、東アジア諸国民から批判を受けています。  
「在日朝鮮人歴史人権週間」や「恒久平和調査局設置法」のとりくみ、歴史教科書採択など歴史認識の課題と、企業責任明確化など戦後補償の実現に向けて協議します。

問題提起・助言者＝上杉聰(関西大学講師)、川村一之(戦争被害調査会法  
を実現する市民会議)、三嶋静夫(ABC企画)

④人権確立

長野バスターミナル会館4階国際ホール(200名)

＝国連人権機関がたびたび指摘しているように、日本の人権状況は被差別部落、女性、在日外国人など多くの問題があり、実効的な人権救済法の確立が求められています。その制定について、政権交代したなかでの課題を明らかにします。また、少子化のなか子育て政策とジェンダー問題についても協議します。

問題提起・助言者＝山崎公士(神奈川大学教授)、清水澄子(元参院議員)  
サンパルテ山王5階信濃(250人)

⑤地球環境

＝地球温暖化をはじめ、深刻化する環境破壊に対すとりくみが遅れていたアメリカはオバマ政権の誕生で大きく転換し始めました。日本も政権交代したなか「日本版グリーン革命は可能か」をテーマに、その条件やプロセスについて考えるとともに、自治体・地域の運動、再生可能エネルギーや日常生活でのとりくみについて協議します。

問題提起・助言者＝藤井石根(明治大名誉教授)、田中優(未来バンク理事長)

⑥地方主権・市民政治

長野市生涯学習センター(TOiGO)4階大学習室1(156人)

＝日本では地域の荒廃、生活の困窮が、世界同時不況のなかでいっそうすすんでいます。地方主権、地域の自立と振興がきわめて重要な課題となっています。憲法理念実現の観点から、あらためて地方自治のあり方について、地方財政の現状と課題、市民生活の命と暮らしを守る政治のあり方について議論します。

問題提起・助言者＝菅原敏夫(地方自治総研)、山田厚(甲府市議会議員)

⑦憲法－議会制民主主義の再生をめざして

長野市民会館集会室(210人)

＝憲法問題の重要な焦点をとともに考えます。2005年の総選挙で与党が衆議院の3分の2議席をこえ、他方、その後の参議院選挙は与野党逆転したなかで、議会制民主主義のあり方が大きく問われていることに焦点をあてます。

問題提起・助言者＝江橋崇(法政大学教授)

◎フィールド・ワーク 11月2日(月)09:30～16:30

①松代大本営地下壕見学と真田城下町の歴史散策ツアー 1台40人 有料5,000円

＝松代大本営朝鮮人追悼碑を守る会の案内と講演

②信州上田・人権と不戦の誓いツアー 1台40人 有料5,000円

＝佐久市浅科信州農村開発史研究所の斉藤洋一さんの講演／無言館窪島誠一郎さんの講演

◎ひろば 11月2日(月)14:00～16:00 長野市生涯学習センター他

①男女共同参画 サンパルテ山王3階千曲(150人)

＝男性も女性も生きやすい新しい男女共同参画社会を～ジェンダー平等社会へ／講演・竹信三恵子さん(朝日新聞編集委員)／人形劇・なんでこんなに生きづらいの(現場の声)～「子どもを産む場所・生んでからの職場・子

どものかよう保育園の課題・問題点」など現場からの報告を受け、実効ある男女共同参画社会の実現に向けた議論を深めます。

問題提起・助言者＝竹信三恵子(朝日新聞編集委員)

②沖縄問題

長野市生涯学習センター4階大学習室2・3(290人)

＝信州から沖縄問題を考える／沖縄三線ライブ／信州沖縄塾・沖縄平和運動センターからのアピール／市民団体「信州沖縄塾」と県実行委員会との共催／地上戦が行われた沖縄では罪なき多くの人々が犠牲になりました。敗戦から65年、今も過大な米軍基地や基地維持のための公共事業の投入による自然破壊など、沖縄の人々に犠牲を与えています。沖縄の歴史と文化を学び、交流を図ります。

問題提起・助言者＝伊波敏男(信州沖縄塾塾長、作家)

③映画

長野市生涯学習センター4階大学習室1(156人)

「花はどこへ行った」

＝映画上映と坂田雅子監督の講演／市民団体(脱原発など)と県実行委員会との共催／ベトナム戦争終結から30年。戦争中大量に散布された枯れ葉剤による被害で今なお苦しむ人々を描いたドキュメント映画。

問題提起・助言者＝坂田雅子(映画監督)

◎特別分科会／運動交流 11月2日(月)15:30～17:30

◆運動交流

サンパルテ山王4階天竜(150人)

＝新政権が誕生したなかでの運動のあり方について協議します。

問題提起・助言者＝福山真劫(平和フォーラム代表)

◇関連企画 11月2日(月)13:30～15:30

「全国基地問題ネットワーク学習交流集会」

サンパルテ山王4階天竜(150人)

◎閉会総会 11月3日(火)09:30～11:00 ホクト文化ホール中ホール

①特別提起

普天間基地の即時閉鎖と辺野古新基地建設の断念など沖縄から

沖縄平和運動センター事務局長

山城博治

エネルギー政策転換を求めて

福井県平和センター事務局長

水上賢市

女性差別撤廃条約選択議定書の批准を求めて

I女性会議共同代表

東定喜美子

長野県内の護憲運動について

長野県護憲連合事務局長

布目裕喜雄

未組織・非正規労働者の労働相談の現場から

松本地区労組会議事務局長

荒井宏行

②大会のまとめ

実行委員会事務局長(平和フォーラム事務局長)

藤本泰成

③遠藤三郎賞表彰

表彰団体

横須賀ピースフェスティバル実行委員会

(神奈川平和運動センター)

④大会アピール

提案・長野県実行委員会(部落解放同盟県連女性部長) 高橋品子

⑤閉会あいさつ

長野県実行委員会副委員長(社民党県連代表) 山口わか子